

導入機能 - ①

川湯広場（川湯ラグーン）

- 川湯温泉の最大の特長である、街中を流れる温泉川に浸るラグーンをまちの中心地につくり出し、川湯の新たな顔となるシンボリックな場所とする。
- いくつかの温泉川が絡み合い合流することで、川の流れを感じる場所や、ゆるやかなたまりになり佇める場所、中洲にはビアバーなどの飲食店やテラスといった様々な居場所を提供する。
- 大部分は水着などを着用し、混浴で入れるエリアとし、一部を日帰り温泉の外湯としても機能する。



「湯の川」入浴体験イメージ（ブルーラグーン/アイスランド）



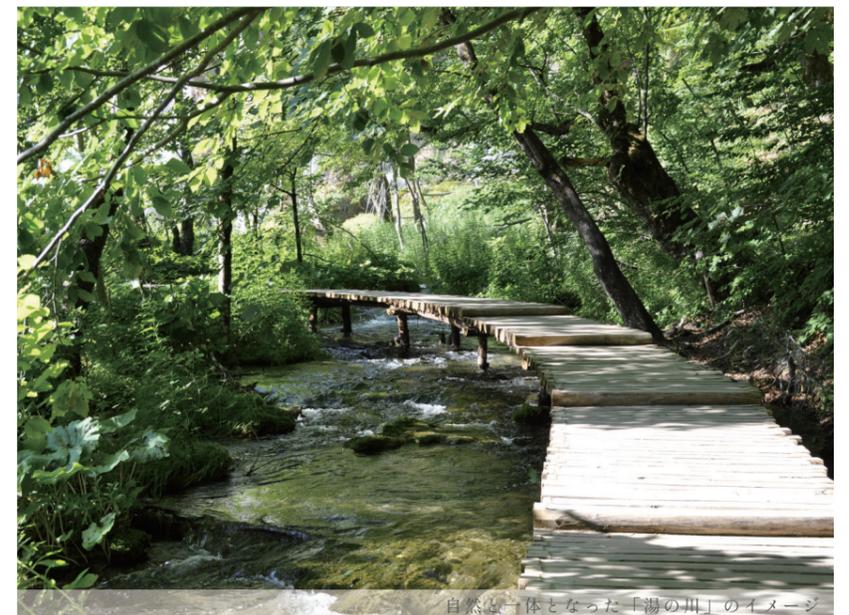
「湯の川」入浴体験イメージ（ブルーラグーン/アイスランド）



自然と一体となった「湯の川」の入浴体験イメージ



自然と一体となった「湯の川」の入浴体験イメージ



自然と一体となった「湯の川」のイメージ

日帰り温泉

- 観光客や地元住民が気軽に川湯の上質な温泉を楽しむ日帰り温泉。川湯の新たな顔となる川湯ラグーンと一体となった露天風呂や、源泉を楽しむ内湯、充実したサウナ設備や外気浴空間を設ける。
- 日帰り観光客に対してはキャンプやフットパスの途中や帰り道に立ち寄るマグネットとなり、宿泊観光客はホテル以外の湯巡りの一つとして楽しむことが出来る。
- 地域内に誘致する低価格のゲストハウスやホテルでは、施設に温泉施設を設置せず日帰り温泉との連携を行うことで、設備投資を抑え、価格へ還元出来る。
- 地元住民が日常的に使いやすい料金設定や地元割を設けることで、川湯住民の生活満足度向上へとつなぐと共に、観光客が求める地元生活者とのコミュニケーションが生まれる。



自然と一体となった日帰り入浴施設イメージ (とんぼの湯 / 軽井沢)



自然と一体となった日帰り入浴施設イメージ (とんぼの湯 / 軽井沢)



住民や観光客のコミュニティスペースを併設 (恩湯 / 長門湯本温泉)



自然と一体となった日帰り入浴施設イメージ







屋外浴場へのレセプションを更衣室やシャワー室と共に設ける。

レセプション
(更衣室・シャワー室)

川湯広場内に川湯温泉街の回遊ルートにつながる空中歩道を設ける。

空中歩道

屋外入浴の休憩の場や軽飲食の食事の場として設置。

東屋

観光客や地元住民が気軽に楽しめる日帰り温泉。既存ホテルとの湯めぐりに適した規模の検討を行う。

日帰り温泉

温泉・温水のプールイメージ



SHOP イメージ

